

# 東京エリア Debian 勉強会

第69回 2010年10月度

まえだこうへい [mkouhei@debian.or.jp](mailto:mkouhei@debian.or.jp)  
IRC nick: mkouhei

2010年10月16日

- 注意事項
  - 名刺提出か身分証明証提示。
- 最近あった Debian 関連のイベント報告
  - Debconf 10
  - OSC 北海道
  - OSC Tokyo 2010/Fall
  - LinuxCon Japan 2010
- ある Debian な一日
- Mini Debconf にむけてのディスカッション



# イベント報告









# IPA 日本OSS 貢献賞、奨励賞

- @kmuto(貢献賞)
- @iwamatsu(奨励賞)





リア充のため、不在です。

# ある Debian な一日



本業ではフロントのサービスばかりを作っている自分ですが自宅にはdebian etch サーバが二台あります。以前 zope と相性がいいたかセキュアだとかいうのを小耳に挟んでセットアップしたものです。

こいつらあまりメンテしておらず自宅で運営してる WEB サービスが吐く apachelog を圧縮してログサーバに転送したり dns サービスを使って定期更新しているといった最低限の利用でした。

ところがある日、SSD をサイズ違いで買い間違えるわけ  
です。返品してもいいのですが、せっかくなのでSSD なサーバ  
でも作ってみようかなと思いたちました。ちょこちょこ調べて  
みると、まだコストパフォーマンス的には使えないという意見  
が多数。それでもいいから遊ぶなら何の用途に使うと楽しいの  
かなと探しているとmysql の高速化や巨大 memcached として  
使う意見、などちらほらあったのですが、io がボトルネック  
になり、かつ書き換え回数がそんなに多くない、などの観点で  
流行のキーバリュ型データストアが面白そうです。

というわけで debian に最小構成から肉付けしてキーバリューストアの cassandra が何かをセットアップしようと思い立ち ssh をはじめちょこちょこ aptitude していくと失敗するわ失敗するわ。どうやら libedit2 がないらしいのですが、etch のものは unavailable のよう。解決できなく、etch の CD が古いからと逃げて lenny を焼きなおしてやっとスタート地点についた次第です。このままなあなあで cassandra を使い始めるのが今までの自分でしたが常々 debian で万能感を持ったサーバ管理ができればと思っていたので思い切って勉強させていただければと思っています。

右も左もわからず、ゼロからのスタートとなりますがよろしくお願いいいたします。

# あけど

朝:Debian なサーバのメンテナンス、cron-apt からのメールが来てないかチェック、来てたら aptitude update ; aptitude -sy safe-upgrade として更新。内容を確認して aptitude -y safe-upgrade を実行

昼:Debian 系の各種 ML を読んでみる。

夜:Debian なデスクトップ環境のメンテナンスとか、朝と同じく aptitude update ; aptitude -sy safe-upgrade として更新内容を確認して、更新があったら aptitude -y safe-upgrade を実行、他にも GPG のキーの更新とか

ある初夏の日の朝の話。  
寒い。夏の初めに似合わぬ事を思いながら目を覚ます。まだ目  
覚ましもなっていない。どうやら掛け毛布が剥ぎ取られた上に  
扇風機がいつの間にか回されているせいだと気づく。やれ  
やれ。

## やまね(2)

喉が多少痛むので昨日のうちに淹れておいた水出しコーヒーで湿らせる。とにかく温かいものを、と思い余ったカレーパンをレンジで温める。ホットコーヒーにした方が良かったかな、と寝ぼけた頭でぼんやり考える。レンジから音がしたので取り出して頬張る。駅構内のチェーン店にしてはいける味。だが同じ駅構内でも赤羽のアレはダメだ。



## やまね(3)

頭が動かないのでシャワーを浴び、ようやく人心地に。まだエアコンが取り付けされていない自室へ行き、デスクトップPCが轟音を立てているなか、ノートPCをスリープから立ち上げる。もちろん立ち上がってくるのはDebianだ。gdmのパスワード入力に答え、雑然としたデスクトップの状態を眺める。さて、メール処理からやってみるか。sylpheedの画面を開く。昨夜でびあん傘の注文を受けて返事を書いたが、まだ送信してないのに気づいたので一気に送信。

## やまね(4)

今回は何名か GPG encrypt してくれたが、sylpheed からサクッと処理が出来ずにローカルの適当なファイルにコピペしてターミナルから `gpg --decrypt` なんぞをやっている、とほぼ。相変わらず「手間を減らす」事が下手なのに嫌気が。ついでに Google Docs に注文状況のメモ書きをまとめる。ふと inbox を見るとスイスのその傘の首謀者からメール。郵送に EMS を使ってほしかったが、「それ聞いたことが無い」とのこと。彼が示した URL から EMS の国別状況のページが見つかったので、そちらをメール。うまくいくといいが。

## やまね(5)

事務処理はまだ続く。Debconf10 にいく事は決めたのだが、チケットの都合上、早く行くことになってしまった。宿を取らないと...と思って HIS で適当なのを予約したが、よくよく聞くと Debconf 会場でも支払いさえすれば前乗りできる様子。ということで NY の締切りに間に合うように [penta.debconf.org](http://penta.debconf.org) から登録情報を修正し、SPI へクレジットで振込処理。ふー。HIS の方は Debconf 側が取れたのを見計らってキャンセルだな。

## やまね(6)

まだ事務処理。昨年寄稿した Software Design 誌の Debian JP サイトへの再利用許可が gihyo 方面から許可を出していただけだったので、理事会に共有しておく。実際にウェブページへの反映はいつやろうかね…。 Debconf 記事の売り込みも返信ついでにやっておく。旅費が、ね。それから、Debconf といえば GPG キーサインパーティ。今年の手順はこれだぞ! と岩松先生から送られてきていたので、登録作業を実施。

## やまね(7)

`http://people.debian.org/~anibal/ksp-dc10/ksp-dc10.html` を見ながら、「あれー俺のキーっていくつ? 」などとフザケたことを思い、`gpg --list-keys` して見つけるなど。pub key が分かればあとはページどおりに進めるだけ。一応 port25 ブロックの影響で届かないとか嫌なので自分宛にもメール、届いた。

## やまね(8)

まだメール処理。identi.ca で Gregkh 先生に「あなたの twitter クライアント (bti)、OAuth 対応してる？」とダイレクトで質問してたのに返答がきてた。「まだなんだよねー、わかってんだけど」とのこと。squeeze のフリーズと twitter の OAuth 以外拒否が近いので、対応していないクライアントは一旦ドロップしないとイケない。リストを簡単にアップデートしておく。とりあえず、キリがなさそうなので一旦メール処理終了。

バグ潰しに入る。といっても自分のパッケージのバグではなく、FTBFS なバグ。Lucas Nussbaum さんが大量に登録してくれているので、彼の登録したバグをみていくことにしている。昨日のうちにめぼしいものは pbuilder を使ってローカルでビルドするなどしてリストアップしてあるので、後は処理メールだけ。

17 個ほど同じ原因の RC bug に対して

`<bugnumber>-done@bugs.debian.org` 宛にメール。1 個は手元の pbuilder で再現しないので unreproducible タグをつけて `control@bugs.debian.org` へ。もう 2 個はエラーが指し示すとおり Build-Depends を微調整するだけでなおるので、ビルドできる事を確認してから patch タグをつけて送る。これで 20 個ほどバグが減る方向へ進んだわけだ。残りがこれくらい簡単なのばかりだと楽なんだが。



寢床のWeb 巡回マシンが Debian(lenny) です。 少々怪しいリンクを踏んでも、Windows より耐性があるかな? というあまり根拠のない理由からです。 最近は flash も動きますし、Video も見れますし、不自由な事はあまりありませんね。

ある晴れた日曜の一日

ぐったりとして、朝、目覚める。まずモニタをつけて昨日の debuild の確認。む、なんか gcc-4.4 がビルドエラーしてるな。どうやら symbols の不整合で、最後の最後に、lib32gomp1 パッケージを組めずにエラー吐いているらしい。そういえば gcc-4.3 から ppc64 のパッチは投げられてなかったな。さて、どうしよう。よし、てきとーに、lib32gomp1.symbols.ppc64 にコピペしてみるか。おk。  
debuild 開始。

(んで、MythTV で録画しておいた ONEPIECE を見て、モニタを消して、寝る)

## 山本浩之(2)

夕方、再度目覚める。ああ、よく寝た。む、また lib32gomp1 パッケージを組めずにエラー吐いたな。ええい、くそ、こうなったら libgomp1.symbols.common にコピペだ。よし、おk。debuild 開始。

(んで、MythTV で録画しておいた龍馬伝を見て、モニタを消して、寝る)

以上、ある晴れた日曜の一日でした。

仕事のデスクトップ環境と、自宅サーバ兼ルータとして使用しています。デスクトップ環境については、Debianの様々なパッケージが利用でき、さらにrpm系のコマンドも利用できるため、rpm系の作業もdeb系の作業も手元でできるのが利点です。自宅サーバ兼ルータについては、potatoの時代にdebianをインストールして以来アップグレードをして日々使用し続けていますが、ほとんど問題なく稼働しています。

# まえだこうへい

起き抜けの一発

ドスン! 「グヘッ」

鳩尾にいつもの衝撃が目覚める。こまめが朝の餌をヨコセと、今朝もやってきた。無視して寝直す。ヨメの方の掛け布団の上の方に移動したようだ。タイマーでめざましテレビがついた。さて、起きるか。こまめも同時に"チャチャン"という鈴の音を立てて先回り。こまちゃんの餌をやる前に MacBook の電源を入れる。起動させている間にこまめの餌と水をやる。

## まえだこうへい(2)

顔を洗い、着替えを手にしてサーバルームへ。起動した MacBook の Sid にログインし、`apt-get update; apt-get upgrade` を実行し、その間に執筆中の本の原稿を `git pull` する。終わったら、バナナを食べて 6:33 の始発のシャトルバスで出かける。夏に電車のダイヤ改正に合わせて、シャトルバスのダイヤも変わってしまったので、通勤中に座れなくなりました。無論、通勤中には MacBook を使えないので、`milestone` で RSS フィードの購読をする。

## まえだこうへい(3)

### 始業前の一時間

8時過ぎに会社のビルに到着後、朝食を調達し、朝一の小便を済ませ、会社のリフレッシュルームで原稿を書く。この一時間弱が一日で唯一のプライベートタイムだ。Debian勉強会で発表をするときも、ここで資料を作成する。

### 始業後の日課

9時になりオフィスの自席で、Sidの入ったデスクトップPCを立ち上げる。仕事での検証は専らこの貧弱なマシンで行う。SidのCouchDBは未だ0.11なのでsvnのリポジトリからgit-svnで最新のリビジョンを持ってきてビルドする。おっと、今日はCouchAppのリポジトリも更新されているようだ。git pull 後に、debパッケージ化してアップデートしておこう。

## まえだこうへい(4)

### 昼休みのメンテ

昼休み、今日は組合サーバにログインする。表のサーバは未だ Sarge なのだが、Sarge の APT は Proxy サーバの NTLM 認証に対応していないので仕方ない。Sarge の背後で動かしている Squeuze のパッケージアップデートだけを行った。

### 帰宅後のこまめ、家事

帰宅後、着替えて、こまめの餌と水をやる。今日はワシが食事当番なので、いつもの納豆料理をする。作り終わる直前にちょうどヨメが帰宅。今夜も美味しくできたな。



## まえだこうへい(5)

食後にヨメが食器洗いをしている間に OOo で管理している家計簿をつけながら、メールのチェック。Debian パッケージのセキュリティ通知があるのに気づき、OpenBlockS の Lenny のパッケージをアップデートし、Tripwire の DB を更新しておいた。そろそろ OpenBlockS も Squeeze にアップグレードしないとあかんなあ。ぷらっとホーム提供のファームウェアは Linux Kernel 2.6.16 ベースなので Squeeze にはそのままアップグレードできない。クロスコンパイル環境を作って、ファームウェアのビルドを計画しなければ。そんなことを思うが、やはり夜は頭回らない。さっさと寝ることにしよう。

朝:まず twitter client を確認。ここで `cdn.debian.net` に何かあれば通知されていることが多い。次に `ar@debian.org` あてのメールを確認。

昼:Debian、Ubuntu、Fedora、CentOS などがいりまじった環境をいじっている時は、問題にあたれば検索、さらに確認をくりかえす。実はBTSをみない日のほうが多いかも。

夜:IRC 会議がなければ特になにもやる元気もなくなおれる。

朝起きたら、Debian の desktop を立ち上げ、`aptitude update/safe-upgrade` をして、ほげほげして、会社についたら Debian のノートブックを立ち上げ、リモートの Debian サーバをほげほげして、ローカルな Debian マシンで、新しいパッケージを試してはニヤニヤして、満足して帰るという一日を毎日しています。

いろいろ考えてみましたが、一日のうち Debian を PC 以外では利用していない気がします...

朝の通勤中に座れたときには Debian sid の入ったノートで OCaml のプログラムを書く。会社に着いたら、やはり Debian sid の端末で、emacs の twittering-mode を使って twitter をチェック。すっかり関数型クラスタになっている friend timeline から情報収集。おもしろそうな論文を発見したら取ってきておく。OCaml や Haskell のおもしろそうなライブラリを発見したら、Debian package になっているかチェックしつつ試しにインストールして遊んでみる。

関数型脳があたたまってきたところで、Haskell で書いている業務プログラムの拡充。とかやっている間にアルバイトの学生さんが質問しにきたりする。彼らの半数はやはり Debian を使って開発している。頭の中を関数型から Perl に切り換えたり Java に切り換えたり。

気がつくとも夜になっていてへろへろなので帰る。帰りの電車の中でも OCaml 書き。

生活環境として...

実はXは見切りをつけてGUI環境はWindowsなのだが、これはDebian上のVM。そして、ウェブサーバーやデータベースなどの各種サーバも同様にVMにしてkvmやopenvz/lxcで稼動。なので、

- ① 手元PCでおもむろにリモートデスクトップを起動  
( mstsc.exe や rdesktop )
- ② VMなWindowsに接続
- ③ その中でホストにログイン
- ④ emacs や w3m を開いて生活( GUIものはWindows側 )
- ⑤ 特定のサーバをいじるときだけ vzctl enter/lxc-console で接続

というのが毎日の生活手順。

Debianらしい? ユースケースとしては、kvm/openvz/lxcが使うrootfsは実体はaufsでクローニングされた環境で、それをrootdir/nfsroot対象にして稼動していたり。このあたりは非標準なaufsまでビルドしており、さらに各種の仮想化機能を組み込んだカーネルパッケージを提供してくれるDebianは大変ありがたい。

端末・ルータとして...

上の生活環境にアクセスするための端末や各所の GW も多くが Debian。

端末は持ち歩き用は Windows だが、その他の各所に置きっぱなしの固定端末は全てディスクを Debian 入り CF/USB に差し替えて、rdesktop 端末になっている。ローカルで動かすのは ratpoison と rdesktop だけ。ここでも aufs 大役立ちで、真の/  
を /ro に移動させて /全体を aufs でラップすると、chroot /ro+upgrade で更新できて非常に便利。昔のオンメモリで動かす方式や一部フォルダだけ tmpfs を重ねる方式ではこうはいかない。



ルータとしては、Debianには標準で aiccu/miredo/radvd やらがあるので IPv6 ルータにもすぐなって楽。もっとも Tokyo6to4 の登場で不要になった..( そもそも IPv6 は管理用と ipv6.2ch.net とかつて MS が主催した InstallManiax でしか使っていない... )。最近 Vyatta にも手を出してますが、いずれも必要なら素 Debian に抜けて openvpn でも vtun でも httpunnel でも何でも使って穴を通せるのはとても安心。そういうわけで「困ったら Debian。とりあえず Debian」な一日です。え? RedHat/CentOS? そういう時は febootstrap/rinse ですよ。( ホント何でもあるな... )

入社すぐ Debian 数十台マシンの Munin チェック Cron バッチで動く Oracle から Debian の Postgres への DB 連携動作チェック Quagga が動作する Debian マシンのパケットフォワーディング状況チェック

Debian 上で動く Rails コントローラーの改造しつつ、日々のネットワーク運用に必要なツール群が動作する Perl スクリプトの高速化処理を研究しつつ適用。おもむろに全 Debian への `apt-get update`。 `apt-get upgrade`。

帰宅後、家のマシンで複数ホストへ仕掛けていた Smokeping の動作確認。 [kernel.org](http://kernel.org) にて新しいパッチがでていないか確認。

# Mini Debconf に向けてディスカッション



# Mini Debconf とはなにか？



リア充